



日本木材青壮年団体連合会 環境憲章

【理 念】

日本木材青壮年団体連合会(日本木青連)は、類まれなる環境性能を有する木質資材を扱う“木財人”として、長期的な視野に立って、更なる地球規模での環境保全に取り組み、循環型経済社会の形成を通じて、人類と森林と地球が調和する豊かな未来に貢献します。

～私たちは、木材が人類共有の財産であることから、その持続的な利活用を目指す会員を“木財人”と称しています～

【基本方針】

1.《木材利用の地球環境貢献》

木材利用の促進を通じて、地球環境に貢献する事業を推進します。

- ①木材製品の炭素貯蔵による地球環境貢献効果を正しく理解し、高炭素ストック社会の形成を目指して、木材利用の促進に努めます。
- ②木材加工の省エネルギー性能を正しく理解し、低炭素排出社会の形成を目指して、更に環境負荷の小さい木材製品と、その生産、流通技術の開発に努めます。
- ③地球上の健全な炭素循環における森林の役割を理解し、木材の持続可能な利用によってその機能が最大限に発揮される観点から、森林による炭素吸収源の拡大に貢献します。

2.《事業活動》

事業活動全般において、環境法令の遵守と一層の環境負荷の低減に努めるとともに、日本木青連会員全体の環境管理レベルの向上を図ります。

- ①有毒物質の適正管理、3Rの推進(リデュース、リユース、リサイクル)による省資源を推進します。
- ②会員への環境教育を推進し、環境保全意識の高揚を図ります。
- ③ビジネスパートナーと協働して、木育活動などの環境保全活動を推進します。
- ④合法木材の利用を推進します。

3.《社会活動》

森林資源の有効な循環利用を通じて地球環境保全を推進します。

- ①木材の利用促進を通じて、循環型経済社会の形成に努めるとともに、持続可能な企業価値向上と会員の社会貢献への意識を高めます。
- ②行政機関、地域、関係団体と連携して、環境保全活動に積極的に参加、支援します。
- ③社会と協調して豊かな地域環境の実現を目指した環境活動に取り組みます。

4.《情報発信》

正確な環境情報を開示するとともに、フィードバック情報を環境活動の改善に活かします。

- ①環境情報を積極的に公開し、社会との環境コミュニケーションを推進します。
- ②木材製品における温室効果ガス排出量等の「見える化」に努めます。
- ③環境行動計画を公表し、計画的かつ継続的な環境活動を推進します。

制定 2010年 6月19日

日本木材青壮年団体連合会
平成21年度会長

久我 洋一



平成26年度

木青連だより

〔事業報告書〕

長野県木材青壮年団体連合会



平成26年度

木青連だより

目次

ごあいさつ	長野県木青連 会長 宮川 秀紀	1
平成26年度事業概要		2
平成26年度会議・事業経過報告		4
平成26年度組織図		5
平成26年度出向者		5
一年を振り返って	長野県木青連 直前会長 中澤 勝成	6
	長野県木青連 会長代行副会長 田中 俊章	6
	長野県木青連 副会長 土倉 宣也	6
	長野県木青連 副会長 大蔵 俊介	6
	日本木青連 常任理事 財務委員長 島田 直政	7
	日本木青連 常任理事 財務副委員長 小林 稔政	7
	日本木青連 木材活用委員会 副委員長 印出 晃	7
	日本木青連 木育推進委員会 副委員長 瀧沢 良夫	7
第37回長野県児童・生徒木工工作コンクール実施報告		8
第37回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト		10
信州山の日制定記念イベント[木工教室]事業報告		15
信州環境フェア2014事業報告		15
会団事業報告	北信木青連	16
	東信木青連	17
	松本材青会	18
長野県木青連理事会議事録		20

ごあいさつ



長野県木材青壮年団体連合会
平成26年度会長 宮川 秀紀

「原点回帰 そしてさらなる進化」のスローガンのもと平成26年度がスタートし早くも1年が過ぎようとしております。

昨年は、御嶽山の噴火 木曾地方の集中豪雨災害 白馬地震などわれわれ長野県にとって多くの災害に見舞われた1年ではなかったのかと思います。そのような厳しい年を乗り切ってこれたのも木青連のメンバーのおかげだと思いつても感謝しております。

1年を振り返るにあたっては様々な事業を行ってまいりましたが特に各、単会各々とても苦勞していただき単独で木青連のPR活動に励んでいただき多くの成果が得られたのではないのでしょうか。北信木青連の新幹線の開通に伴う新飯山駅構内の地元杉材を利用したパネルなど多くの場面で木青連の活動した足跡を本年度は形としてみる事ができとても満足しております。

また木工工作コンクールには過去最高の作品応募をいただき全国へと羽ばたく作品を数多く出すことができ毎年のことではありますが子どもたちの作品のレベルの高さには本当に驚かされております。

来年には北信越ブロックにて全国大会が開催されます。当会団からも多くのメンバーが日本木青連の重要なポストに出向になります。ぜひ長野県木青連のポテンシャルの高さを発揮するとともに、長野県木青連ここにありと言うところを全国に見せつけてきてほしいと心から思っております。

3月には新幹線が金沢まで延伸します。長野県にとっても新たなチャンスが迷い込んでくるかもしれません。そのチャンスをみんなで掴みとって長野県木青連も共に発展していけたらいいと思っております。

現在の会員数は個人会員も含め36名に減少しております。ぜひ次年度以降は私の出来なかった会員拡大をしていってほしいと考えております。最後になりましたが本当に会長としては力不足もあり皆さんにご迷惑をおかけしたことをこの場をお借りしてお詫びいたします。

また、今年1年間長野県木青連の活動に対しまして多大なるご協力をいただきまして全ての皆様にお礼と感謝を申し上げます。

1年間ありがとうございました。

平成26年度事業概要

長野県木材青壮年団体連合会
平成26年度会長 宮川 秀紀

会長指針

21世紀がスタートして気がつけば十余年が過ぎ、本年度からは消費税が5パーセントから8パーセントへ移行されました。将来のビジョンがあまり見えない中この消費税の値上げが我々の業界をはじめ、日本経済をどのような方向に進んでいくのか正直見えない毎日です。しかし、そんな中でも我々木材界は前を見て一歩一歩進んでいかなくはなりません。誰かがやってくれる 誰かが助けてくれるなど他人頼みではなく自らが先頭になってこの先が見えない不安を払拭していかなくてはなりません。今こそ木青連の力を見せる時代です。心を一つにこの苦境に立ち向かっていきましょう。

□木材普及

木青連では 木のすばらしさを伝えるための事業を数多く行っております。本年度も木材普及の為 木工工作コンクール 木工教室 などの木育を通じ木のすばらしさを多くの皆様へ伝える事業を計画し、特に子供たちに木の素晴らしさを伝えるための活動も多く実施していきたいと思っております。

□少数精鋭

本年度の木青連の会員は36名になりました。私が木青連に入会したころに比べれば会員数は減少の一途をたどり会団がなくなった地域もありました。しかしそんな厳しい時代の中でも現在活動している会団はそれなりの努力をして今があると考えます。そんな厳しい時代を乗り越えてきたからこそ、現在生き残った会団及び会員は本当に選ばれたメンバーなのです。少ないからこそ意思決定も迅速になりメンバー内の結束も昔よりは固い絆で結ばれております。今こそ、この選ばれたメンバーで行動をおこす時期が来ていると思います。業界の発展の為に個々の能力を最大限に発揮し行動に移しましょう。

□原点回帰

今こそ初心に立ち返えることにより今ある木材界の原点を見つめ返す機会をもう一度見つめ直し、そしてさらなる進化を目指して行動に移しましょう。

スローガン

「原点回帰 そしてさらなる進化」

基本方針

未来を担う子供たちに木の素晴らしさ ぬくもりを伝え自然保護の大切さをつたえよう。
メンバー同士の交流を深め個々の会員の資質の向上に努めよう。
木青連の原点を見つめ直しつつ 未来に向けて何が今できるのかを語り合いビジョンを見出そう

事業計画

【1】長野県木青連が基本方針に基づき、会員、単位会団、ブロック並びに関係諸団体と連携して行う会議

- (1) 定時総会
- (2) 理事会
- (3) 県、中部森林管理局、関係団体との懇談会

【2】長野県木青連が主催し、各単位会団、個人会員に協力を依頼して行う事業

- (1) 第55回県会員北信大会
- (2) 第37回長野県児童・生徒木工工作コンクール
- (3) PRカレンダーの斡旋
- (4) 木のHPR事業
- (5) 会員拡大
- (6) 木青連だよりの発行
- (7) 今後の木青連の在り方研究

【3】各単位会団、ブロックが主催し長野県木青連が協力して行う事業

- (1) 木材PR事業

【4】日本木青連が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業

- (1) 第59回全国会員宮崎大会
- (2) 第39回全国児童・生徒木工工作コンクール
- (3) 第18回日本木青連木材活用コンクール
- (4) ウッディレターの配信
- (5) 総会、理事会、委員会

【5】地区協議会が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業

- (1) 北信越地区会員大会
- (2) 北信越地区協議会

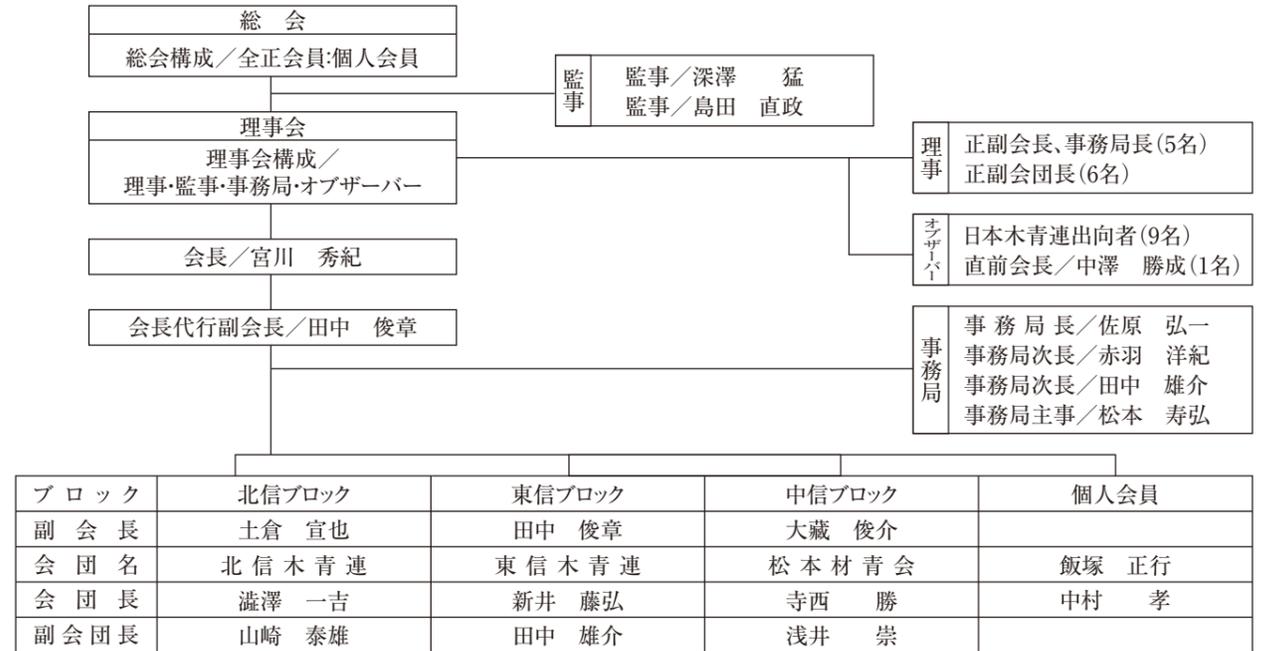
【6】関係諸団体等が主催し、長野県木青連、ブロック、単位会団が協力して行う事業

- (1) 長野県県産材振興対策協議会が主催する事業
- (2) 長野県木材協同組合連合会が主催する事業
- (3) 長野県木材振興基金が主催する事業
- (4) (財)長野県建築住宅センターが主催する事業
- (5) 県、中部森林管理局等が主催する事業

平成26年度 会議・事業経過報告

3月7日(金) 日本木青連 第1回理事予定者会議	東 京：原木会館
3月12日(水) 正副会長事務局引継会議	長 野：林業センター
3月28日(金) 北信越地区協議会	福 井
3月29日(土) 長野県木青連 理事予定者会議	松 本：松筑建設業会館
4月11日(金) 北信木青連総会	長 野：ホテルメトロポリタン長野
4月12日(土) 日本木青連 第1回理事会	東 京：原木会館
4月16日(水) 松本材青会総会	松 本：ホテルモンターニュ
4月26日(土) 第55回県会員中信大会	松 本：ホテルプエナピスタ
5月22日(木) 北信越地区協議会全国大会準備委員会	富 山：イシモク エモリ
5月30日(金) 長野県木材産業政治連盟総会	長 野：林業センター
5月31日(土) 長野県木青連 第1回理事会	松 本：松筑建設業会館
6月12日(木) 長野県産材対策協議会 総会	長 野：メルパルクホテル
6月13日(金) 日本木青連 第2回理事会	宮 崎：宮崎市民プラザ
6月14日(土) 日本木青連 全国宮崎大会	宮 崎：宮崎観光ホテル
6月25日(水) 長野県木材産業振興基金 総会	長 野：林業センター
7月17日(木) 北信越地区協議会全国大会準備委員会	富 山：イシモク エモリ
7月26日(土) 長野県木青連 第2回理事会	松 本：松筑建設業会館
7月27日(日) 山の日イベント 木工教室	安曇野：国営アルプスあずみの公園
8月23日(土) 信州環境フェア2014	長 野：ビッグハット
8月24日(日) 信州環境フェア2014	長 野：ビッグハット
8月28日(木) 北信越地区協議会全国大会準備委員会	福 井：アオッサ
9月13日(土) 松本農林業まつり	松 本：県の森公園
9月20日(土) 日本木青連 第3回理事会	広 島：ANAクラウンプラザホテル
9月25日(木) 北信越地区協議会全国大会準備委員会	長 野：洪温泉
10月10日(金) 木工工作コンクール審査会	松 本：合同庁舎
10月11日(土) 北信越地区協議会 石川大会	石 川：金沢勤労者プラザ
10月25日(土) 波田木工教室	松 本：波田体育館
11月8日(土) 日本木青連 第4回理事会	東 京：原木会館
11月19日(水) 北信越地区協議会全国大会準備委員会	富 山：イシモク エモリ
11月22日(土) 木工工作コンクール表彰式	松 本：松本市美術館
12月6日(土) 長野県木青連 第3回理事会	松 本：松筑建設業会館
北信越地区協議会全国大会準備委員会	松 本：松筑建設業会館
北信越地区協議会 長野大会	松 本：松筑建設業会館
12月8日(月) 県議会農政委員会との懇談会	長 野：長野県庁
1月17日(土) 日本木青連 第5回理事会	東 京：原木会館
2月13日(金) 林友会長お別れの会	松 本：林友ホール
2月21日(土) 長野県木青連 第4回理事会	松 本：駅前会館

平成26年度 組織図



平成26年度 出向者

<p>《1》日本木材青壮年団体連合会</p> <p>理事 常任理事 財務委員長 島田 直政 [東信木青連]</p> <p>常任理事 財務副委員長 小林 稔政 [松本材青会]</p> <p>理事会 団長理事 宮川 秀紀 [松本材青会]</p> <p>木材活用委員会 副委員長 印出 晃 [松本材青会]</p> <p>木材活用委員会 委員 田中 俊章 [東信木青連]</p> <p>木育推進委員会 副委員長 瀧沢 良夫 [北信木青連]</p> <p>オリンピック対策 副委員長 中澤 勝成 [北信木青連]</p> <p>オリンピック対策 委員 新井 藤弘 [東信木青連]</p> <p>オリンピック対策 委員 白石 直仁 [北信木青連]</p>	<p>《2》日本木材青壮年団体連合会 北信越地区協議会</p> <p>県会 団代表 宮川 秀紀 [松本材青会]</p> <p>県会 団代表 田中 俊章 [東信木青連]</p> <p>県会 団代表 佐原 弘一 [松本材青会]</p> <p>県会 団代表 田中 雄介 [東信木青連]</p>	<p>《3》長野県木材産業振興基金</p> <p>理事 宮川 秀紀 [松本材青会]</p> <p>理事 田中 俊章 [東信木青連]</p> <p>評議員 大藏 俊介 [松本材青会]</p> <p>評議員 田中 雄介 [東信木青連]</p> <p>《4》長野県産材振興対策協議会</p> <p>理事 宮川 秀紀 [松本材青会]</p> <p>幹事 佐原 弘一 [松本材青会]</p> <p>《5》長野県木材産業政治連盟</p> <p>副会長 宮川 秀紀 [松本材青会]</p> <p>委員 田中 俊章 [東信木青連]</p> <p>《6》(公財)長野県緑の基金</p> <p>評議員 宮川 秀紀 [松本材青会]</p>
--	---	--

一年を振り返って



平成25年度 長野県木材青壮年団体連合会
直前会長

中澤 勝成

年度初めより消費増税の影響もあり我々木材業界の取り巻く環境は引き続き厳しい状況の中で、宮川会長におかれましては「原点回帰 そしてさらなる進化」を本年度スローガンに掲げ先頭に立ち1年間会の運営大変お疲れ様でした。

また、執行部・理事をはじめ会員の皆様には1年を通して理事会・木工工作コンクール・各木工教室等木青連活動に大変なるお力添えを頂きました事を感謝いたします。

とりわけ本年度の木工工作コンクールでは、予想をはるかに超える作品数が集まり、当会の原点ともいえる木育が浸透した結果ではないかと感じる所であり、今後も継続し益々木育が浸透していくことを願

一年を振り返って



平成26年度 長野県木材青壮年団体連合会
会長代行副会長

田中 俊章

本年度は、宮川会長のもと会長代行副会長として1年間木青連活動に携わらせていただきました。宮川会長のスローガン「原点回帰 そしてさらなる進化」。私なりに1年間を宮川会長と共に行動しながら、沢山の勉強をさせていただき僅かながら進化したと思っております。

理事会では議長を任されて、理事の皆様意見を聞いてまとめ議事を進めていく難しさを知りました。理事の皆様を協力をいただき何とか議長役をこなすことが出来たこと感謝致します。

担当事業でありました「PRカレンダー斡旋事業」は、例年通りの業

一年を振り返って



平成26年度 長野県木材青壮年団体連合会
副会長

土倉 宣也

本年度は木工工作担当副会長として一年間活動させて頂きました。主な活動内容は「長野県児童・生徒木工工作コンクール」になります。今回で37回目を数える本事業ですが、例年より早く各学校へパンフレット等をお送りすることが出来た為か、長野県全域の小中学校から昨年度よりも1,000点余り多い5,408点もの作品のご応募をいただきました。参加学校数も156校と多数の学校からのご応募を頂き大変うれしく思っております。子供たち一人ひとりの豊かな発想力と作品の完成度には毎年驚かされるばかりで、全ての作品がすばらしく木材を生業としている私たちは勿論、多くの方に大きな感動を与えていた

一年を振り返って



平成26年度 長野県木材青壮年団体連合会
副会長

大蔵 俊介

平成26年度宮川会長の「原点回帰 そしてさらなる進化」のスローガンの下、副会長を務めさせていただきました。理事の皆様をはじめ、会員皆様のご指導とご協力のお蔭で、無事に一年を終えられるところまで来ましたこと、まずは心より御礼申し上げます。

同時に、いつお会いしても良い意味で変わらない長野県木青連の仲間たちを嬉しく感じると共に、常に良い刺激を与えてくれることに併せて感謝申し上げます。

副会長として、初めての事業「信州山の日制定イベント」と毎年恒例

います。

そして、本年度も長野県補助事業「信州の木活用モデル地域支援事業」の採択を頂き新飯山駅構内の木質化を行いました。事業の一番の目的は森林税と間伐材の活用PRですが、「木青連という団体が有り、木材の利用拡大をPRしている」ことを広く伝える事が出来る事業ではないかと思えます。さまざまな制限があり、採択を頂くにはかなりハードルが高い事業ではありますが、木材と当会PRの為に可能であれば毎年チャレンジしていただき新たな活動を広げて行くことで、各会員の社業に少しでも役に立つことに繋がっていただければ木青連活動の意味が見えてくるのではないかと思います。

最後になりますが、27年度はいよいよ北信越地区が中心となり日本木青連の活動をする年となります。その中で長野県が一番多くの会員数を誇り、中心的な役割を担っていくことになります。会員皆様には大変ご苦勞を掛ける機会が増えるかと思えますが、本年度以上のお力添えを頂きますようお願いいたします。

務をこなすに過ぎず、売上を増やすための活動やPRが出来なかった事を後悔しております。やはり、担当会長が動かなければ売上増は出来ないと改めて実感致しました。

また、本年度は会長代行副会長＝次年度会長という立場で、日本木青連の執行部準備委員会に参加する機会をいただいたため、多くの他県木青連会員と交流する機会がありました。綱領にもありますが、おなじ世代の木材人が交流を深める中で互いに進化して、それがこれからの木青連および木材界の発展に通じる事を肌で実感致しました。

来年度は、長野県内の木青連活動を行いながら、北信越地区を中心とした日本木青連の活動も協力して行かなければならない大変な一年になります。会員の皆様には、さらなるご協力とご尽力をお願いする事になると思えますが、宜しくお願い致します。

1年間ありがとうございました。

ています。また、日本中より各県の代表作品が集まる第39回全国児童・生徒木工工作コンクールにて本年度は、上田市立神科小学校6年、坂口勇斗さんの作品「立派な水車」、原村立原中学校1年、北島瑞季さんの作品「小物入れ付ティッシュケース」の2点が入賞いたしました。長野県木青連の中でも一番大きな事業である本事業ですが、作品数が多くなればなるほど木青連の負担も多くなります。しかし、多くの作品が集まれば集まるほど多くの子供たちが木に触れ合い、一人ひとりの違った感性が多くの方に感動と驚きを与えることができる大事な事業です。今後も木青連活動を通じ関係諸団体にご協力を仰ぎながらより多くの子供たちがご応募いただけるように活動していきたいと思えます。

最後に、頑張って作品と作り上げてくれた子供たち、作品の取りまとめをいただいた学校、各地で作品の審査、集計、持ち込みなど様々な面でご協力いただいた方々、会員、皆様心より感謝いたします。一年間ありがとうございました。

の「信州環境フェア2014」という二つの事業を担当させていただきました。我々の活動が、行政をはじめ地域の皆様にも認知され、必要とされていることを改めて実感する機会となりました。

我々が「木材界の発展を通じ、よりよい社会を建設しよう」という想いの下、「若い英知と情熱を結集し」、議論を積み重ねて行なった活動は、少なからず地域に何らかの波紋を投げかけ、この地域の次代を担う子どもたちのためになっていると信じ、またこのことこそ我々にとっての「原点回帰」であると心に刻み、今後も活動に邁進していきたいと思えます。

平成27年度は、日本木青連にも多くの役員を輩出すると共に、地区内全国会員大会へ向けた準備と、より一層多岐に渡る活動が求められることとなりますが、会員一致団結して頑張っていきたいと思います！

一年を振り返って



平成26年度 日本木材青壮年団体連合会
常任理事 財務委員長

島田 直政

日本木青連 綱領

「われわれ木青連は同じ世代の木材人として交流を深め相互の啓発に努めよう。若い英知と情熱を結集し、不屈の精神をもって行動しよう。木材界の発展を通じよりよい社会を建設しよう。」

日本木青連への出向3年目の今年は特にこの綱領の言葉が身に染みる一年でした。先輩が築き上げてきた歴史の上で、我々はその時代を

一年を振り返って



平成26年度 日本木材青壮年団体連合会
財務委員会 副委員長

小林 稔政

今年度は、日本木青連へ財務委員会の副委員長として出向させて頂きました。

来年度、長野県木青連および日本木青連北信越地区は会長をはじめとする執行部輩出と福井での全国会員大会を迎えることとなります。26年度はそのための準備の一年であり、財務委員長として出向された島田27年度専務理事予定者の補佐としての出向でした。

一年を振り返って



平成26年度 日本木材青壮年団体連合会
木材活用委員会 副委員長

印出 晃

今年度は、日本木青連へ木材推進委員会の副委員長として出向させて頂きました。

木材推進委員会では、以下のような活動を行っています。

- 1) 木材普及・推進に関する活動及び情報発信
- 2) 政策提言部会の活動支援
- 3) 「環境憲章」及び「環境行動計画」の周知・普及の徹底
- 4) PRカレンダーの企画、販売、等
- 5) 木づかいCO2固定量認証制度普及の検証(環境問題対策)
- 6) 行政との研修企画(情報交換会)

中でも主要となるのが、PRカレンダーと木づかいCO2固定量認証制度普及です。カレンダーは紙のカレンダーと木製カレンダーを扱いました。木製カレンダーはその年の会長の地元の木を使って製作するもので、毎年集めれば日本中の木の標本にもなります。長野県では県木青連でPRカレンダーの販売をしているため、なかなか日本木青連の

一年を振り返って



平成26年度 日本木材青壮年団体連合会
木工推進委員会 副委員長

滝沢 良夫

26年度日本木青連木育創造委員会全国審査会も3月に無事終了しまして、のこすところ全国会員松山大会をのこすのみとなりました。

今回の委員会活動は昨年度と比べ複数の作業活動がありませんでしたが、木工作品の出品に関しての問い合わせが多かったと思います。たとえば作品を出品したいが会団メンバーがいない所や、いてもいままで作品を集めたことがない会団。あと昨年委員会で作成したウッドストーリーという漫画での木育教材の販売についても会団不在の所から問い合わせがありました。

企業人として生き抜き、業界の発展の為に行動しているのだと。今年度は、27年度の準備期間と捉え行動してまいりました。いよいよ27年度は北信越地区が日本木青連という船の舵取りを数年ぶりに任せられます。

業界を動かすのは、「若い英知と情熱」を持つ我々木青連です。長野県木青連関係者の皆さんもより一層のご協力、ご支援を宜しくお願い致します！！

しかしながら、所用が重なり、思うように島田委員長補佐の役を務められなかったことをこの場を借りてお詫び申し上げます。

来年度はいよいよ本番の年です。私も副会長の担いがあります。今年、活躍出来なかった分、来年度は頑張りたいと思います。一年間ありがとうございました。

カレンダーは販売部数が伸びませんが、紙の方も、木製の方もなかなかの出来ですので、試しに購入いただければと思います。

もうひとつの柱が、木づかいCO2固定量認証制度です。木づかいCO2固定量認証制度とは、樹木(木材)が二酸化炭素(CO2)を吸収し、炭素(C)を貯蔵(固定)する機能を持つという地球環境貢献効果を正しく普及し、日本国内での建築物等に木材の利用促進をはかるため、木材(国産材・外国産材に問わず)の利用量に応じた二酸化炭素吸収量及び炭素固定量(「木づかいCO2固定量」)を全国区において、認証する制度です。

この制度により、日本国内における木材の積極的な活用を誘導・促進することで二酸化炭素の吸収・炭素の貯蔵(固定)をはかるとともに、木材需要拡大と国内などの森林整備(森林再生・林業再生)の促進による二酸化炭素吸収量の増大をはかり、地球温暖化防止に貢献することを目的としています。

今年は木材炭素固定量認証マイスターの試験を2回開催しました。認証マイスターは申し込みがあれば炭素固定量などを算出します。マイスター試験を副委員長として開催する傍ら、私も試験を受けてマイスターの資格を取得しました。来年も同じ委員会の副委員長を続投することになりましたので、本年の経験を生かしていきたいと思えます。

長野木青連も会団不在の所や休会の所からの出品が多くあり、また受賞作品もそこから毎年上がってきております。長年木工工作委員会に出向していますが、毎年全国審査会に受賞される出品学校もほぼ決まっております。審査員の方々もやはりなという顔を見て感じました。

引き続き木工工作委員会に出向してまいりますが、来年は北信越地区に全国大会の順番がまわってきます。委員長も決まり会員メンバーの体制も整え少数精鋭ですがなんとか乗り切っていきたいと思えます。そして本番は全国会員松山大会です。木工工作委員会もまだこれからですので、メンバーと共にがんばっていききたいと思えます。

第37回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業報告

【趣 旨】 近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。その文化や伝統もその素晴らしさを大切にする心がなければいずれ枯れ果ててしまいます。

そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育推進事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただきたいと考え、標記事業を実施しました。

【主 催】 長野県木材青壮年団体連合会
【共 催】 長野県、中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、長野県木材協同組合連合会
【後 援】 長野県教育委員会、(財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、abn長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

【対 象 者】 長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん

- 【応募基準】**
- (1) テーマ
自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること)
 - (2) 大きさ
タテ・ヨコ・高さ それぞれ75cm以内とする。
 - (3) 締切り
平成26年9月12日(金)
 - (4) 送り先
最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

【事業日程】	年月日	場 所	内 容
	平成26年 6月下旬	県下全域	長野県下の全学校長宛に案内送付、各関係機関への依頼書送付
	7月～8月末	県下全域	木工作品製作(学校又は夏休み期間中)、各材料の提供配布は地元会員が手配
	9月12日	県下全域	作品応募締め切り(作品の回収)
	9月12日～10月3日	県下全域	各地区審査会を実施
	10月10日	松本市	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会
	10月14日～17日	松本市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を松本合同庁舎1Fロビーにて展示
	10月20日～31日	長野市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を長野県庁1Fロビーにて展示
	11月22日	松本市	松本市「松本市美術館」にて表彰式
	平成27年 3月 日(予定)		全国児童生徒木工工作コンクール審査会に作品出展
	6月 日(予定)		全国児童生徒木工工作コンクール表彰式

【審 査】 <基準>
 各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。
 また、小学校低学年(1～4年)、小学校高学年(5～6年)、中学校、盲・ろう・養護学校の以上4部門に分けて審査を行なった。

- ・子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。
- ・木の持味を生かし独創性に優れていること。
- ・機能、デザインが優秀であること。
- ・工作技術が優秀であること。

【審査会】 平成26年10月10日(金) 松本合同庁舎(502会議室)

- 【審査員】** 審査委員長 長野県教育委員会 中信教育事務所 指導主事 竹内 秀昌 様
 審査委員 長野県林務部 信州の木活用課 県産材利用推進室
 担当係長 棚倉 幸裕 様
 中部森林管理局 中信森林管理署 総括地域林政調整官 柳澤 元雄 様
 (公財)長野県緑の基金 常務理事兼事務局長 菅谷 幸博 様
 長野県県産材振興対策協議会 幹 事 松本 寿弘 様
 長野県木材協同組合連合会 理 事 長 細川 忠國 様
 長野県木材青壮年団体連合会 会 長 宮川 秀紀 様
 長野県木材青壮年団体連合会 直前会長 中澤 勝成 様
 長野県木材青壮年団体連合会 代行副会長 田中 俊章 様
 長野県木材青壮年団体連合会 副 会 長 大藏 俊介 様
 長野県木材青壮年団体連合会 副 会 長 土倉 宜也 様
 計11名



(左から)
 長野県林務部 信州の木活用課 県産材利用推進室 棚倉担当係長 様
 中部森林管理局 中信森林管理署 柳澤総括地域林政調整官 様
 長野県教育委員会事務局 中信教育事務所 竹内指導主事 様
 (公財)長野県緑の基金 菅谷常務理事兼事務局長 様
 長野県木材協同組合連合会 細川理事長 様

【審査風景】



【展示風景】 平成26年10月14日(火)～10月17日(金) 松本合同庁舎1階ロビー
 平成26年10月20日(月)～10月31日(金) 長野県庁1階ロビー



【表 彰 式】 平成26年11月22日(土) 松本市「松本市美術館」



第37回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト

1. 最優秀賞（長野県知事賞）

作品名	氏名	学校名	学年
森の中のツリーハウス	近江澤岳人	長野市立南部小学校	4年
立派な水車※1	坂口 勇斗	上田市立神科小学校	6年
小物入れ付きティッシュケース※2	北島 瑞季	原村立原中学校	1年
プラモデル専用格納庫	降旗 義彰	長野県諏訪養護学校	高等部3年

※1.NHK会長賞受賞 ※2.全国造形教育連盟委員長賞受賞

2. 長野県教育委員会賞

作品名	氏名	学校名	学年
災害から龍(たつ)	山川 飛優	南木曾町立南木曾小学校	6年

3. 中部森林管理局長賞

作品名	氏名	学校名	学年
アンキロサウルス	宮坂 翔吾	小諸市立水明小学校	2年

4. 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

作品名	氏名	学校名	学年
虫たちの野原	林 実緒	下諏訪町立下諏訪北小学校	3年

5. 長野県県産材振興対策協議会 会長賞

作品名	氏名	学校名	学年
和太鼓	土田 慶太	小諸市立美南カ丘小学校	6年

6. 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

作品名	氏名	学校名	学年
ひみつきち	向山 恭平	茅野市立宮川小学校	2年

7. 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

作品名	氏名	学校名	学年
からくり金庫	北原 駿介	駒ヶ根市立赤穂南小学校	5年

8. 優秀賞

作品名	氏名	学校名	学年
サッカーをする少年	小田切れいや	長野市立川中島小学校	3年
教科書ラック	岩井 太平	長野県立屋代高等学校付属中学校	3年
真田幸村のかぶと	田川 琉翔	上田市立西小学校	5年
ルリコンゴウインコ	武藤 まり	御代田町立御代田南小学校	6年
わかめコースター(合作)	北島 彩音	長野県立松本盲中学校	2年
	矢澤 彩夏	〃	2年
海の思い出	諏訪 太星	岡谷市立田中中学校	3年
木にとまっている虫達	古畑 桐都	茅野市立宮川小学校	5年
流木のかさ立て	山内 勇人	南箕輪村立南部小学校	5年
ねているライオン	松原 帆奏	南木曾町立南木曾小学校	1年
昔の木舟のうす	下坂 優斗	上松町立上松小学校	6年

□第36回長野県児童生徒木工工作コンクール内訳

総参加人数	5,476名
参加学校数	小学校 150校
	中学校 4校
	盲・ろう・養護学校 3校
合計	157校

審査会出品数	110点
入選(左記の1~7)	10点
優秀賞	10点
佳作	467点
努力賞	5,020点
総作品数	5,507点

最優秀賞(長野県知事賞)

森の中のツリーハウス

長野市立南部小学校4年 近江澤 岳人

ぼくは、森の中で遊ぶことが大好きです。森には、たくさんの木があって木登りをするのがお気に入りです。だから、ぼくの夢はツリーハウスを作ってそこに住むことです。そこで、自分が住みたいツリーハウスを形にすることにしました。

気に入っているのは、てんぼう台です。そこから、周りのいろんな木を見たら楽しいだろうなと思いました。

大変だったのは階段で、しっかりつけるために、何度もつけ直しました。かん板の名前に使った細い枝を切ったりつけたりするのも大変でした。グルーガンで何度もヤケドをしていたかったです。

いつか、本当に住めるツリーハウスを作ってそこで生活したいです。そこからのながめや森の中でのバーベキュー、下を流れる川での魚つりを、想像するだけで楽しみです。



最優秀賞(長野県知事賞)・NHK会長賞

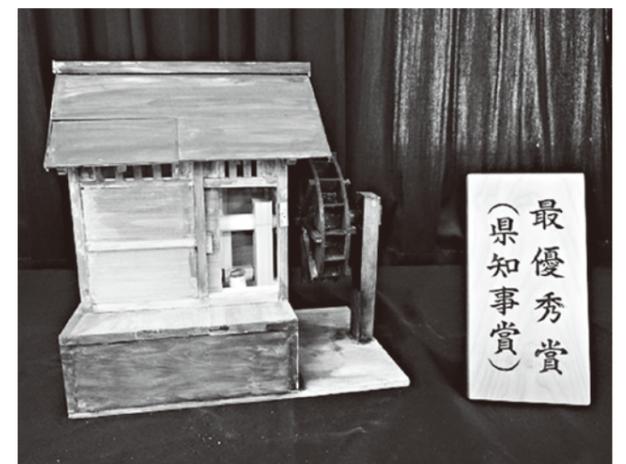
立派な水車

上田市立神科小学校6年 坂口 勇斗

この水車を作ったきっかけは、家族で出掛けた時、水車小屋があったので、この水車小屋を作りたいと思いました。

でも作るのにはむずかしそうだったけど挑戦をしました。この水車でむずかしかった所は水車でした。回りの板を丸く切ることがむずかしかったです。それと組みつけがむずかしかったです。また水車を回す時に、ぼうを動かす構造がむずかしかったです。水車の色がよく分からなかったのもう一度水車小屋を見て来て水車小屋に色をつけました。完成して水車を回したら音が、したので、ぼくは、感激してとてもうれしかったです。

小学校最後の木工作品の思い出になりました。ありがとうございました。



最優秀賞(長野県知事賞)・全国造形教育連盟委員長賞

小物入れ付きティッシュケース

原村立原中学校1年 北島 瑞季

私は、最初ティッシュケースとゴミ箱を一緒にした物を作ろうと考えていました。そしてどのような形にするか家族に相談している時に、ティッシュが何かの煙などに見えるような形はないかと思いつきました。そして考えていくうちに「船」の形が思いつきました。そして作っていくうちに、ゴミ箱ではなく、小物入れの方が良いのではと思い小物入れにしました。船の先端を曲げたり、糸ノコギリの台をななめにして使ったり、難しい作業もありましたが、大人に手伝ってもらいながら完成することができました。今年も、良い経験になったと思います。

まさか、県知事賞をとれるとは、思ってもいなかったのですね。来年も、頑張りたいです。



最優秀賞(長野県知事賞)

プラモデル専用格納庫

長野県諏訪養護学校 高等部3年 降旗 義彰

僕は、プラモデル専用格納庫を作りました。作った理由は二つあります。一つは、僕のプラモデルの数が増えたので、綺麗に並べて片づけようと思ったからです。もう一つの理由は、去年、友達が作った作品が、県知事賞を貰ったので、僕も素晴らしい作品を作って賞を取りたかったからです。

完成するまでには、ものすごく時間がかかりました。放課後に残って製作したので、作り甲斐がありました。特に、鍵がけや、扉を蝶番で取り付けるのは苦労しました。

賞を貰ったという知らせを受けた時は、本当に、言葉では説明できないくらい嬉しかったです。先生や友達、親戚や家族にその事を伝えると喜んでくれました。僕はこれからもいろいろな物を作っていきます。

賞を取れたのは、先生や家族のおかげだと思います。僕を支えてきて下さった皆さん、本当にありがとうございました。



長野県教育委員会賞

災害から龍(たつ)

南木曾町立南木曾小学校6年 山川 飛優

今年の木工作品は、何を作ろうかなやみましたが、七月九日に自分の町で土砂災害がおこり、町の風景が変わってしまいました。

町の人々や、ボランティアの人達が復旧作業を毎日してくれていました。ほくのおじいちゃんの家も土砂で大変でしたが、みんなの力で片付けが速く終わりました。町全体が災害から立ち上がろうとしています。木工作品には、その思いも込めて作りました。龍(りゅう)は龍(たつ)とも読みます。だから龍を作りました。

龍のウロコは、一つ一つ彫刻刀で掘りました。とても細かく大変だったけど削り落とさないように気をつけて掘りました。町の木工作品展では、六年間で三回入選しました。小学校最後で長野県教育委員会賞をいただく事ができてうれしかったです。賞は、取れてうれしかったけど、災害があった事は、悲しかったです。



中部森林管理局長賞

アンキロサウルス

小諸市立水明小学校2年 宮坂 翔吾

ざいりょうは、家のちかくの山にとりに行き、からまつのまつぼっくりとえだをひろってきました。

まつぼっくりは、せなかとしっぽに一まい一まいはりつけて、きょうりゅうのように見せました。

目のところは、ひまわりのたねをつけました。

くふうしたところは、足をくるみのからをいくつもかさねてつかい、まつぼっくりでゆびをつけたところです。とげは、木をやすりでけずってとがらせてつけました。足をつけるときがーばん大へんでした。ざいりょうがぜんぶほくの家のまわりで手に入るなんて、とてもしあわせです。



公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

虫たちの野原

下諏訪町立下諏訪北小学校3年 林 実緒

小学一年生の時から、木工作品を作っていて、今年は、生き物をモチーフにした作品を作ろうと思いこの作品を作りました。

一番むずかしかったのは、草でした。木の板に下がきをして、その線どおりに、糸のこで切っていました。この時に足でふみつけて、切っていたので、足に糸のこがあたりそうで、こわかったです。そして、切れた板にやすりをかけました。

花やカブト虫、クワガタ虫、テントウ虫はくるみのからで、ちょうは、太い木をわ切りにした物をくみ合わせて作りました。

わたしが、この作品で気に入っている所は、中心にある大きな木です。なぜかというといくつものえだを太い木にさしてあるのに、一つの木に見えるからです。

来年も生き物をモチーフにした作品を作りたいです。



和太鼓

小諸市立美南ガ丘小学校6年 土田 慶太

ぼくは、両親と、小さいころから和太鼓をやっているのですが、「ドーン」とひびく、和太鼓を作ってみたくて父にお願いして、協力してもらい製作しました。

和太鼓を作るのに苦労したところは、まず、太鼓胴を作るとき、角材を台形にして、それを、貼り合わせる時、立てて並べるとすぐたおれてしまいうまくいかないで、裏にテープを貼り、横に並べて接着ぎいを付けてるめていったら、うまく輪になりました。またその胴を削るのに電動工具を使ったのですが、けがをしないようにしん重に削りました。そしてと装ですが、気温が高かったせいかニスがすぐ乾いてきてしまい、あまりうまくぬれませんでした。

次に革を張るとき、革を水につけてやわらかくするのですが、水から出してから時間が経つと革が乾いてきてしまい、ロープをかけた耳の部分に破れてきてしまっ、強く張りきれませんでした。またその革ですが、レザークラフト用の端切れを利用しました。

革がある程度張れたら太鼓鉦を打つのですが、鉦の頭が丸いので打ちそこなって指をはたいてしまいとても痛かったです。

そしてバチ作りですが、カンナで角材の面を取り丸く削り、紙やすりで角が取れるまでひたすらこすりました。手のひらがまさつて熱くなり赤くなってしまいました。

できた太鼓を打ってみました。出来上がった直後は意外と良い音がしたのですが時間が経つにつれ低い音になってしまいました。

プロのような良い音のする和太鼓を作るのはとても難しいなと思いました。

またいつか「ドドーン」と腹の底にひびく大きな和太鼓を作りたいなと思いました。



ひみつきち

茅野市立宮川小学校2年 向山 恭平

ぼくは、この「ひみつきち」で、友達といっしょに毎日たくさん遊びたいと考えて作りました。

はじめに、ツリーハウスをのせるために桜の木を切りました。のこぎりで切るとき、かたくて手がしびれました。

つぎに、栗の枝でツリーハウスを作ろうと考え、たくさんの枝を短く切っていきました。枝を切るためのはさみをにぎると、手が痛くなりましたが、がんばりました。その後、切った枝を積んでいくのが楽しかったです。

友達と遊ぶ場所なので、ブランコやシーソー、すべり台も作りました。ツリーハウスから木へと渡れるように橋もつけました。すべり台は、トンネルのように暗くするとスリルがあって楽しいから、竹を使いました。

一番気に入っているのは、木にカブト虫とクワガタ虫をつけたことです。足を付けるところが、細かくて大変でした。上手にできてよかったです。



からくり金庫

駒ヶ根市立赤穂南小学校5年 北原 駿介

ぼくがからくり金庫を作るのに苦労した事が二つあります。

一つ目は、金庫のフチを茶色にしたことです。お父さんにアドバイスをもらって、かっこよくなるなと思い、ぬることにしたのですが、この作業の時に、フチ以外の所に色につかないようにマスキングテープで新聞をはりましたが、テープをはる時にまっすぐはらなければいけなかったのが、何度もはり直して大変でした。でも上手にはれたので良かったです。

二つ目は、金庫のダイヤルを作る所です。ダイヤルのうら側に、木の板が三枚入っているのですが、それぞれの板をとびらのうら側に付けるときに、他のパーツとうまくかみあわなかったのが、何度もつけ直して、やっと上手に、くっついたので、うれしかったです。

この苦労を乗り越えて、大きな賞をとることができてとてもうれしかったです。来年も大きな賞をとれるように、がんばりたいです。



信州山の日制定記念イベント[木工教室] 事業報告

事業報告書

【事業名称】 信州山の日制定記念イベント 木工教室

【実施場所】 安曇野市 国営アルプスあづみの公園(堀金・穂高地区)

【実施日時】 平成26年7月27日(日) 11:00~16:00

【対象者】 一般(信州山の日制定記念イベント来場者)

【事業主体】 長野県木材青壮年団体連合会

【担当】 大藏 俊介

【趣旨目的】 県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に信州山の日PRや木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。

【事業内容】 長野県林務部が主催する「信州山の日制定記念イベント」で木工教室を開催。

ミニ椅子づくり(イスキット)2日間 80セット(予備5セット)

＜1回毎の講座内容＞ イス作り開始(50分) ※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

＜準備品＞ イスキット80セット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/テント(3間×4間)1張/釘、紙やすり/コンパネ10枚/ブルーシート/掃除道具/受付簿、整理券

【スケジュール】 7月27日 8:00~ 集合・材料搬入
9:00~ オープニングイベント
11:00~16:00 木工教室
16:00~ 片づけ、搬出

【当日風景】



＜木工教室開催時間＞

- 1回目 11:00 ~ 11:50 [15組]
- 2回目 12:00 ~ 12:50 [15組]
- 3回目 13:00 ~ 13:50 [15組]
- 4回目 14:00 ~ 14:50 [15組]
- 5回目 15:00 ~ 15:50 [15組]

信州環境フェア2014[木工教室] 事業報告

事業報告書

【事業名称】 信州環境フェア2014 木工教室

【実施場所】 長野市 ビッグハット(若里多目的スポーツアリーナ)

【実施日時】 平成26年8月23日(土)~24日(日)
10:00~17:00 ※最終日16:00まで

【対象者】 一般(信州環境フェア来場者)

【担当】 大藏 俊介

【事業主体】 長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】 県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。

また、同時に木育教室を開催し長野県の森林の状況や木材の使われ方などを知っていただく。

【事業内容】 信州環境フェア実行委員会、長野県地球温暖化防止活動推進センターが主催する「信州環境フェア2014」で木工教室・木育教室を開催。

○ミニ椅子づくり(イスキット) 2日間 110セット(予備10セット) ○ヒノキ マイ箸づくり2日間 100セット

＜1回毎の講座内容＞ ①森林の話(2分) ②イスの作り方(3分)木青連 ③イス作り開始(45分)

※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

＜準備品＞ イスキット110セット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/釘、紙やすり/コンパネ10枚/ブルーシート/掃除道具/受付簿、整理券

【スケジュール】 8月22日 16:00~17:00 材料搬入
8月23日 10:00~17:00 (9:30集合)
8月24日 10:00~16:00 (9:30集合)
16:00~ 片づけ、搬出

【当日風景】



＜木工教室開催時間＞

- 1回目 10:30 ~ 11:20 [15組]
 - 2回目 11:30 ~ 12:20 [15組]
 - 3回目 13:30 ~ 14:20 [15組]
 - 4回目 14:30 ~ 15:20 [15組]
 - 5回目 15:30 ~ 16:20 [15組]
- ※最終日は、10組 ※最終日5回目は無し

平成26年度事業実施報告書



北信木青連 会会長
澁澤 一吉

「いいやま花フェスタ」の会場に向かっている車中、だんだんと雨足が強くなっていき、屋外での木工教室の成否が不安になってゆきました。昨年は晴天の中で行われ、屋外の清々しい中でやる事が出来、建物の中だけでなく外でやるのもいい物だと考えていましたが、やはり天気には勝てないと思いながら会場に着きました。一応テントはあるものの結構ひどい降りになってきており、吹き込んでくる雨の中、椅子を作るのは無理なのかと思われました。なんとなく暗いムードで居ると、向かいの仏壇屋さんが軒先は特に使っていないのでここでどうかと、助け舟を出してくれました。軒先といっても9尺くらいあり結構広く、お言葉に甘えて急いでベニヤを敷いて会場を設え、来場者を待ちました。あいにくの天気ながら大勢の来場者があり、又近隣の人の申し込みもあり、瞬く間に予定数をこ

なすことが出来ました。今回は二回目ということもあり、椅子作りが目当てという人もあまり居ないのですが、本当に通りがかりに興味を持ってやりたいという人が多く、かえって新鮮な印象を受けました。そして一番良かった事は、皆でお祭りを盛り上げようとする気持ちも当然あるのですが、困っている時に快く速やかに場所を提供して下さった心遣いです。イベントの中での木工教室も悪くはありませんが、こういった初心に帰れる交流も大切なんだと思いました。

今期一杯で任期を全うしましたが、更にもう一期努めることとなりました。2年というのはあっという間でありましたが、思うように行かなかった点、前述のように気持ちよく出来た点と多々ありますが、やってきて良かった点は多かったと思います。二期目もそう思えることが多くなるよう尽力してゆきたいと思います。

北信木青連 PR事業 事業報告

城東小学校



新飯山駅 木活事業準備



旧飯山駅さよならイベント



いいやま花フェスタ



平成26年度事業実施報告書



東信木青連 会会長
新井 藤弘

1昨年度より東信地区では、2会団あった上小木青連と唐松会を合併させて、東信木青連という形で出発し、早3年が経ちました。

合併1～2年目と比べると、連絡や通達という意味疎通関連も3年も経つてくると、さすがに安定してまいりました。

また会団活動としては、例年通り上小支部は上小支部としての従来通りの活動を、北佐久支部でも同様に活動を展開させていただきました。前年度から共同事業といったものも考えておりましたが、いろいろな都合によって結局実現できませんでした。

今年度は、当初より長野県木青連の理事会に全て参加することを第一目標としておりましたので、それにつきましては、実践することができました。

また来年度は、日本木青連の会長補佐予定者ということで、この一年を通して北信越地区協議会、全国大会準備委

員会等の出席が多く、結局のところ出向者並にいろいろな地区に出かけることとなってしまいました。おかげさまでますます北信越地区の木青連の仲間たちとの距離が縮んだように実感しております。このような感じで次年度を盛り上げて、平成27年度の総括である全国会員福井大会が成功することを祈念しております。

次年度は東信木青連も会員を3名増員することができ、新鮮な感覚で会団活動を進めていってもらえればと期待しております。

最後になりますが、東信木青連会会長として一年間無事に活動できたのは、会員のみなさんご協力ご支援があったからこそと思っております。この場を借りまして心から感謝すると共に、これからも木青連活動にエネルギーを注いでいきたいと思います。

一年間ありがとうございました。

東信木青連 PR事業 事業報告

- ①事業名 佐久パルーンフェスティバル2014[木工教室]
- ②日時 平成26年5月3日(土)～4日(土) 9:00～17:00
- ③場所 佐久市 千曲川スポーツ交流広場
- ④参加人数 256人(来場者数)
- ⑤内容・題材 木工教室を開催。
・小椅子づくり(イスキット)2日間 256セット
※木青連は、参加者のイスづくりをサポート



- ①事業名 森の学校
- ②日時 10月18日(土)
- ③場所 上田市市民の森
- ④参加人数 112名
- ⑤内容・題材 小椅子作り



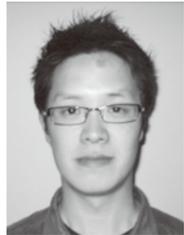
- ①事業名 上田市卸売団地祭
- ②日時 平成26年10月5日(日)
- ③場所 上田市卸売団地
- ④参加人数 60名
- ⑤内容・題材 卸売団地お祭りでの親子木工教室/小椅子作り



- ①事業名 上小地区木工工作コンクール表彰式
- ②日時 平成26年11月29日(土)
- ③場所 上小木協会館
- ④参加人数 86名(保護者含む)
- ⑤内容・題材 上小地区での児童生徒木工工作コンクール表彰式



平成26年度事業実施報告書



松本材青会 会団長
寺西 勝

平成26年度松本材青会の会団長を務めさせて頂いてから一年がたち、振り返る時期になりました。

本年度は松本材青会より長野県木材青壮年団体連合会の宮川会長を輩出させて頂き、各団体のご協力のもと、県会員中信大会を無事開催することができました。ありがとうございました。

本年度も多くの木工教室を通じて、多くの方に木と触れ合い、温もりを感じて頂けたと思います。来年度以降も引き続き木と触れ合うこのような事業を多く開催してもらいたいです。

毎回木工教室のたびに感じていたのですが、なぜこんなに木工教室が人気なのだろう？と。私自身木

に携わる仕事をしていますが、私の思う木の温もりと木工教室に参加して下さった方の感じられる木の温もりは違うのではないのでしょうか。その部分をもっと感じ取り、他の事業にも生かす事が出来れば、今後更に長野県木材青壮年団体連合会は発展して行けると思います。

最後になりますが、一年を通し至らない会団長だったと思いますが、松本材青会員及び県会員の皆様のご協力のもと無事務め終わることができ感謝しております。

一年間ありがとうございました。

松本材青会 PR事業 事業報告

①事業名 親子木工教室(松本農林業祭り)

②日時 平成26年9月14日(土)
9:00~16:00

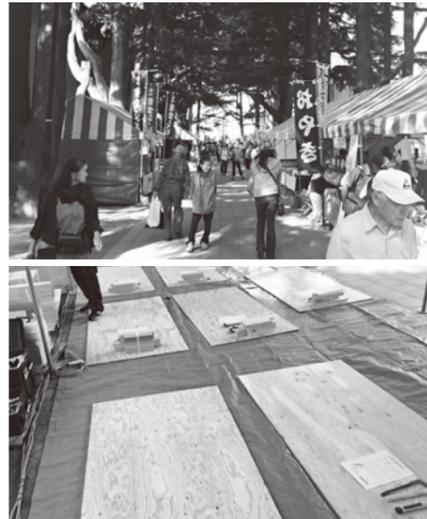
③場所 松本市 あがたの森公園

④参加人数 約100人(来場者数)

⑤内容・題材 椅子づくり体験 50セット

県産材による椅子作り

※会団員は、参加者の作り方説明とサポート



①事業名 木工教室(松本市波田商工会 ものづくりフェスタ)

②日時 平成26年10月25日(土)

③場所 松本市 波田体育館

④参加人数 約100人(来場者数)

⑤内容・題材 県産材による椅子作り 50セット

※会団員は、参加者の作り方説明とサポート



①事業名 親子木工教室(ものづくりフェア2014長野)

②日時 平成26年11月1日(土)~2日(日) 9:00~17:00 最終日16:00まで

③場所 松本市 職業訓練校体育館

④参加人数 約200人×2日間(来場者数)

⑤内容・題材 椅子づくり体験 2日間で200セット

県産材による椅子作り

※会団員は、参加者への作り方説明とサポート



長野県木青連 平成26年度 理事予定者会議 議事録

開催日時／平成26年3月29日

開催会場／松筑建設会館

出席者 (◎印は理事を示す)

◎会長 宮川 秀紀
直前会長 中澤 勝成
◎代行副会長 田中 俊章
◎副会長 大蔵 俊介
◎副会長 土倉 宣也
監事 深澤 猛
監事 島田 直政
◎北信木青連 会团长 澁澤 一吉
◎北信木青連 副会团长 山崎 泰雄
◎東信木青連 会团长 新井 藤弘
◎東信木青連 副会团长 田中 雄介
◎松本材青会 会团长 寺西 勝
◎松本材青会 副会团长 浅井 崇
◎事務局 局長 佐原 弘一
局次長 赤羽 洋紀
事務局次長 田中 雄介

出席者数13名

連絡報告事項

- (1) 会議事業経過報告
- (2) 日本木青連からの連絡報告
- (3) 出向者活動報告
- (4) 信州山の日制定イベント【木工教室】事業計画について
- (5) PRカレンダー申し込みについて
- (6) 正副会長・事務局連絡事項
- (7) 会費納入の件(大蔵副会長)

議長指名

会長より代行副会長を指名

議事録作成指名

佐原事務局次長予定者

定足数確認

理事11名中、出席7名 委任状3名 欠席1名 成立致します。

字句訂正

多数のため別紙にて

1号議案 会長より事業計画(案)活動指針 上程

会長より事業日程説明。
拍手にて採決
拍手多数 承認

2号議案 会長より事業予算(案)活動指針 上程

会長より事業日程説明。
挙手にて採決
挙手多数 承認

3号議案 会長より第55回県会中会大会開催(案)承認の件 上程

会長より事業日程説明。
挙手にて採決
挙手多数 承認

4号議案 会長より平成26年度第1回理事会開催(案)

会長より事業日程説明。
挙手にて採決
挙手多数 承認

長野県木青連 平成26年度 第1回理事会 議事録

開催日時／平成26年5月31日PM15:00～17:30

開催会場／松筑建設会館

出席者 (◎印は理事を示す)

◎会長 宮川 秀紀
直前会長・日本木青連出向オリンピック対策副委員長 中澤 勝成
◎代行副会長・木材活用委員会委員 田中 俊章
◎副会長 大蔵 俊介
◎副会長 土倉 宣也
監事・日本木青連出向 財務委員長 島田 直政
◎北信木青連 会团长 澁澤 一吉
◎東信木青連 会团长・対策委員 新井 藤弘
◎松本材青会 会团长 寺西 勝
◎松本材青会 副会团长 浅井 崇
◎事務局 局長 佐原 弘一
オブザーバー 日野原和仁

議長指名

宮川会長より田中代行副会長を指名。

定足数確認

理事11名中9名委任状2名 本会議は成立します。

字句訂正

第36回を第37回に訂正
第5号議案として役員選考委員会設置についてを追加する

第1号議案 平成26年度第2回理事会議事録(案) 承認の件

・宮川会長 上程
挙手による採択 賛成者多数 承認

第2号議案 信州山の日制定記念イベント【木工教室】収支決算(案) 承認の件

・大蔵副会長 上程
挙手による採択 賛成者多数 承認

第3号議案 平成26年度信州環境フェア【木工教室】収支決算(案) 承認の件

・大蔵副会長 上程
大蔵さん「親子限定にした方がよいのか？」
寺西さん「椅子の総数と今までの年齢層を考えれば親子で区切らない方がいい」
澁澤さん「木工教室の場所によって親子限定で区切ればよい。」
澁澤さん「森林税の説明をして木工教室の時間をもう少し守ってもらう」
中澤さん「必ず説明する事を決めたらどうか」
(団体や木材製品の宣伝などでもよい)
日野原さん「椅子のキット販売、事業でもう少し収益があってもよい。椅子以外の木工教室も考えてみてはどうか」
田中さん「売る目的の時と、そうじゃない時で作る製品を変えてみてはどうか？」
宮川さんと日野原さんのまとめ「親子限定については場所などによって臨機応変に。」
「木工教室の説明事項・椅子以外の木工教室については今後議論していきましょう。」
挙手による採択 賛成者多数 承認

第4号議案 第4回定例理事会開催(案)承認の件

宮川会長 上程
宮川さん 場所が変わります
21日に変更
・挙手による採択 賛成者多数 承認

協議事項

会団事業・活動報告
・北信木青連 澁澤会团长・・・資料参照
・東信木青連 新井会团长・・・資料参照
・松本材青会 寺西会团长・・・資料参照

監事講評

閉会

長野県木青連 平成26年度 第2回理事会 議事録

開催日時／平成27年7月26日 作成者／赤羽 洋紀

開催会場／松筑建設会館

出席者 (◎印は理事を示す)

◎会長 宮川 秀紀
◎代行副会長 田中 俊章
◎副会長 大蔵 俊介
◎副会長 土倉 宣也
◎事務局長 佐原 弘一
◎北信木青連 会団長 澁澤 一吉
◎北信木青連 副会団長 山崎 泰雄
◎東信木青連 会団長 新井 藤弘
◎松本材青会 会団長 寺西 勝
◎松本材青会 副会団長 浅井 崇
事務局主事 松本 寿弘
事務局次長 赤羽 洋紀
木材利用推進委員 副委員長 印出 晃
木育推進委員会 副委員長 瀧沢 良夫
直前会長 中澤 勝成
監事 深澤 猛

第一号議案 平成26年度第1回理事会議事録(案) 承認の件

・宮川会長 上程
挙手による採択 賛成者多数 承認

第二号議案 平成26年度第37回長野県児童・生徒木工工作コンクール
審査会・表彰式 式開催(案)承認の件

補足 P50の項目5、注意事項で佳作は出展数の一割程度
意見・質問者なし
挙手による採択 賛成者多数 承認

第三号議案 平成26年度信州環境フェア2014(木工工作)事業計画
(案)承認の件

・大蔵副会長 上程
>中澤さん 説明の難形があったほうが良い→松本さん 要
点を映合わせする
>深澤さん 消耗品・備品の用意など領収書を提出すれば
MSRに請求してよいか?
→大蔵さん 大丈夫です。
挙手による採択 賛成者多数 承認

第四号議案 第三回定例理事会開催日(案)承認の件

・宮川会長 上程
意見・質問者なし
挙手による採択 賛成者多数 承認

協議事項

会団事業・活動報告
・北信木青連 澁澤会団長より報告ナイス株式会社から一名加盟
・東信木青連 洗い会団長より報告
・松本材青会 寺西会団長より報告

監事講評

閉会

連絡報告事項

(1)会議事業経過報告
(2)日本木青連からの連絡報告
(3)出向者活動報告
(4)信州山の日制定イベント【木工教室】事業計画について
(5)PRカレンダー申し込みについて
(6)正副会長・事務局連絡事項
(7)会費納入の件(大蔵副会長)

議長指名

・宮川会長より田中代行副会長を指名

定足数確認

・理事11名中10名委任状1名 本会議は成立します。

字句訂正

・第一回理事会議事録、会団事業・活動報告 降幡副会団長→
寺西会団長に変更

長野県木青連 平成26年度 第3回理事会 議事録

開催日時／平成26年12月6日 作成者／赤羽 洋紀

開催会場／松筑建設会館

出席者 (◎印は理事を示す)

◎会長 宮川 秀紀
◎代行副会長 田中 俊章
◎副会長 大蔵 俊介
◎事務局長 佐原 弘一
◎北信木青連 会団長 澁澤 一吉
◎松本材青会 会団長 寺西 勝
◎松本材青会 副会団長 浅井 崇
事務局次長 赤羽 洋紀
木材利用推進委員 副委員長 印出 晃
監事 深澤 猛
直前会長 中澤 勝成
オブザーバー 日野原和仁

議長指名

・宮川会長より田中代行副会長を指名

定足数確認

・理事11名中7名委任状4名 本会議は成立します。

字句訂正

13P映合わせ→打ち合わせ・洗い会団長→新井会団長・直前副会長
→直前会長
16P第二号議案の2が抜けてる

第1号議案 平成26年度第2回理事会議事録(案)承認の件

・宮川会長 上程
挙手による採択 賛成者多数 承認

第2号議案 信州山の日制定記念イベント【木工教室】収支決算(案)
承認の件

・大蔵副会長 上程
挙手による採択 賛成者多数 承認

第3号議案 平成26年度信州環境フェア【木工教室】収支決算(案)
承認の件

・大蔵副会長 上程
大蔵さん「親子限定にした方がよいのか?」
寺西さん「椅子の総数と今までの年齢層を考えれば親子で区
切らない方がいい」
澁澤さん「木工教室の場所によって親子限定で区切ればよい。」
澁澤さん「森林税の説明をして木工教室の時間をもう少し
守ってもらう」
中澤さん「必ず説明する事を決めたらどうか」
(団体や木材製品の宣伝などでもよい)
日野原さん「椅子のキット販売、事業でもう少し収益があっ
てもよい。椅子以外の木工教室も考えてみてはどうか」
田中さん「売る目的の時と、そうじゃない時で作る製品を変
えてみてはどうか?」
宮川さんと日野原さんのまとめ「親子限定については場所な
どによって臨機応変に。」
「木工教室の説明事項・椅子以外の木工教室については今後議
論していきましょう。」
挙手による採択 賛成者多数 承認

第4号議案 第4回定例理事会開催(案)承認の件

宮川会長 上程
宮川さん 場所が変わります
21日に変更
・挙手による採択 賛成者多数 承認

協議事項

会団事業・活動報告
・北信木青連 澁澤会団長・・・資料参照
・東信木青連 新井会団長・・・資料参照
・松本材青会 寺西会団長・・・資料参照

監事講評

閉会

長野県木青連 平成26年度 第4回理事会 議事録

開催日時／平成27年2月21日 作成者／赤羽 洋紀

開催会場／松本駅前会館

出席者 (◎印は理事を示す)

◎会長	宮川 秀紀
◎代行副会長	田中 俊章
◎副会長	土倉 宣也
◎事務局長	佐原 弘一
◎北信木青連 副会長	山崎 泰雄
◎東信木青連 会長	新井 藤弘
◎松本材青会 会長	寺西 勝
◎松本材青会 副会長	浅井 崇
事務局次長	赤羽 洋紀
木材利用推進委員 副委員長	印出 晃
監事	島田 直政
監事	深澤 猛
直前会長	中澤 勝成

第1号議案 平成26年度第3回理事会議事録(案)承認の件

・宮川会長 上程
島田さんと山崎さんを出席に訂正
島田さん「議事録の範囲はどのようになっているのか？」
→宮川さん「毎年、議題のみだが引き継ぎの際にある程度設定があってもよい」
宮川「各会団の活動報告で資料参照とするなら資料を添付したほうが良い」
挙手による採択 賛成者多数 承認

第2号議案 平成26年度長野県児童・生徒木工工作コンクール 収支決算(案)承認の件

・土倉副会長 上程
宮川さん「予算内に収まったのは素晴らしいが厳しい予算で事業に支障がでるのはよくない」
島田さん「瀧沢さんが車で運んでいるので予算計上した方がよい」
島田さん「佳作を予算上無くしたのが残念。来年度予算の交渉をしてみてもどうか」
島田さん「ウッドストーリーを教育委員会に売り込んでみてはどうか」
挙手による採択 賛成者多数 承認

第3号議案 平成26年度PRカレンダー・斡旋事業 収支決算(案)承認の件

・田中代行副会長 上程
田中さん「去年買っていたいただいた企業さんにもう少し声をかけてみる」
田中さん「日本の準備不足で発送が遅れた事も影響と考えられる」
田中さん「請求書の発送が遅れて申し訳なかった」
挙手による採択 賛成者多数 承認

第4号議案 平成27年度長野県木青連役員・出向者(案)承認の件

宮川会長 上程
新井さんより新会員の紹介
・挙手による採択 賛成者多数 承認

第5号議案 平成27年度理事予定者会議(案)・県会員東信大会開催(案)

田中代行副会長 上程
・挙手による採択 賛成者多数 承認

協議事項

会団事業・活動報告
・北信木青連 山崎副会長……第4回理事会資料参照
・東信木青連 新井会長……第4回理事会資料参照
・松本材青会 寺西会長……第4回理事会資料参照

監事講評

閉会

議長指名

・宮川会長より田中代行副会長を指名

定足数確認

・理事11名中8名委任状3名 本会議は成立します。

字句訂正

41pの白石さんのフリガナを訂正・ブロックを北信に訂正

41pの赤羽洋紀のフリガナを訂正

17pの印出さん木材活用委員→木材利用推進委員